樫田です。

下記説明が、科研出張の取り扱いについては、不十分だったことに気づきましたの
で、補足します。
ポイントは、「出張者本人か、能隅さんが、どこかのタイミングで、イントラに入力
しないといけない」ということです。

この点が、去年までと違います（去年までなら、書類を出すだけだったのですが、こ
としは、イントラネットにアクセスして
選択肢を選んで入力する、という業務が増えている訳です。

なお、残念ながら、科研のイントラは、まだ動いていません。
したがって、去年どおりの、出張依頼願い、の書面に、証拠書類をつけて、能隅さん
に出して置けば、
イントラが動くようになった時点で、能隅さんが、イントラネットにアクセスして、
入力してくれます。
（自分で直接、総務にもっていっても、総務はイントラネットにアクセスして、入力
はしてくれません。そのまま
放置してしまうと、まずいことになります）

つまり、お勧めは、「科研出張であっても」書類をそろえて、能隅さんに出すことで
す。
あるいは、総務に先に書類を出した場合でも、能隅さんに、出張依頼願い、の控えを
渡して、
のちのちのイントラ入力を御願いしておくことです。

以上、説明不足でしたので、補足させて頂きました。